

桐 野 茂

桐野茂氏は、1964年に15歳で(株)堀場製作所に入社し、精密な加工が要求される光学単結晶をはじめさまざまな材料の研磨技術を習得しました。36歳で現会社を設立・創業以来、匠の技を極めた職人のみが達成できる光学単結晶の研磨技術を基礎に、一貫して金属、非金属、セラミックスなど、あらゆる素材の超精密研磨加工に現在も挑戦し続けています。

光学単結晶材料のハンドラップ研磨職人として1985年に創業・独立した後は、半導体製造装置用ガスコントローラのステンレス研磨をはじめ、さまざまな素材の精密研磨に向き合い、無理難題に応えることで独自の技術を磨き上げました。常に時代の最先端の加工精度を追求しながら、最新の大型精密加工機や高精度測定機を活用して事業を拡大し、1社で切削・研削・研磨・測定をカバーする一気通貫の生産体制を確立しました。極限の精度が要求される人工衛星用大口径軽量ガラスミラーや、核融合実験炉用大型ステンレスミラー、世界最大サイズのLFEX（エルフェックス）レーザ用LBO（三ホウ酸リチウム）単結晶基板の研磨加工など、先端科学・航空宇宙産業の発展にもものづくりで貢献してきました。近年は電解研磨・不動態化処理へ本格的に取り組み、再生医療など先端医療分野を支えるものづくり技術の高度化にも貢献しています。

研磨職人として体得した感覚と技術を磨き上げ、豊富な知識と経験をベースに、高度な技能を有する職人や後継の技術者を育成しながら、職人技を工学的に数値化・可視化することで、量産品から一品物に至る超精密部品の生産加工技術の発展を牽引してきました。この桐野茂氏の業績は、日本のものづくりの発展に寄与するものであり、精密工学分野における工学的・工業的貢献はきわめて大きいため、ここに精密工学会賞を贈賞します。



略 歴

- 1964年 株式会社堀場製作所入社
- 1980年 京都発明協会優秀賞受賞
- 1981年 京都府計量器工業会より表彰（桐野氏の技術に対する）
- 1985年 同社退職
- 1985年 有限会社クリスタル光学設立
- 1990年 株式会社クリスタル光学設立
- 2018年 日刊工業新聞社第35回優秀経営者顕彰日刊工業新聞社賞受賞
- 2019年 秋の叙勲 旭日単光章 受章
砥粒加工学会フェロー（2015年）